

MIKEMIZNO 監督・原作・脚本・製作・訳詞

第20回コニヤック・ミステリー映画祭特別賞受賞



三田佳子

宇津井健

AS GENERAL YAMASHITA
水野晴郎

大浦みずき
西田和昭

誰が解く——?
60年の謎の米!



マルチスコープ
MIKE COLOR

シベリア超特急

SIBERIAN EXPRESS

三田佳子 宇津井健 大浦みずき 西田和昭 AND AS GENERAL YAMASHITA 水野晴郎

真柄佳奈子 大塚ちひろ 田中文實 江成大輝 安藤一平 アガタ・モレシヤン 岩井志麻子 新田孝 内藤武敏
製作:水野晴郎/福井政文 原作/脚本/訳詞:水野晴郎 プロデューサー:伊藤直克 撮影:鈴木耕一 照明:才木勝
録音:湯脇房雄 美術監督:木村威夫 音楽監督:新田孝(日本フィルハーモニー) エンディングテーマ:西村協
制作:水野晴郎事務所/M&T PICTURES/IMAGICA 主題歌「ビギン・ザ・ビギン」コル・ポーター 挿入曲「ロミオアンドジュリエット」「コザックの子守唄」チャイコフスキー
DESIGNED BY KEN SAKAI / ILLUSTRATED BY CHIKARA SAITO

© 2002 MIKE MIZNO
<http://www.mizunoharuo.com/>

M&T
PICTURES

1996 シベリア超特急 2001 シベリア超特急2 そして2003… シベリア超特急＝瀬戸内海＝ニューヨークを結ぶ 60年に渡る本格ミステリーがここに完成！！



水野晴郎のここがポイント

謎はシベリア超特急から瀬戸内海の豪華客船へ、60年を超えた2つの殺人事件が交差する

今度の「シベリア超特急3」は60年の年月を超えて全く同じ密室殺人事件が発生する所から始まる。誰が何の為に仕組んだのか。今までの「シベリア超特急1・2」を乗り越えたスケールの大きさ。あのFOX映画の大作「若き獅子たち」の構成が大好きだったMIKEMIZNO監督が練りに練って書き上げた原作。2つのドラマが交互に進行しながらラストで1つの点に結びつく。MIKEMIZNO監督念願の企画「好色五人女」の構成を先取りした形になっているのだ。今回は3人の脚本家が集結して脚色し、6ヶ月の月日を費やしたとか。



水野晴郎のここがポイント

三田佳子9年ぶりの映画出演。現代日本映画最高の豪華キャストが挑むミステリー死の十字路

MIKEMIZNO監督と三田佳子は40数年に及ぶBESTFRIEND。三田佳子がデビューした頃の清水野和夫の名で評論を書き始めていたMIKEMIZNO監督が彼女の女優としての可能性を大きく取り上げたのが縁で意気投合。やがて、一時期映画を離れていた彼女が「Wの悲劇」で映画女優としてカムバック。大女優としての名演技を見せた時、真っ先に取り上げたのもMIKEMIZNO監督だった。

宇津井健とMIKEMIZNO監督は同年の71歳。宇津井健の大映作品「黒」シリーズや東映作品「新幹線大爆破」の熱演・好演を早々と取り上げたのもMIKEMIZNO監督だった。語り合ったのは撮影1ヶ月前が初めてであったが意気投合した。

こうして三田佳子・宇津井健の競演が実現し、ほとぼしる熱演で見る者に涙を流させた。またMIKEMIZNO監督は歌舞伎・ミュージカル・宝塚・ドラマ等の舞台も必ず見ており今回は宝塚出身のスター9人をオーディション。大浦みずぎの映画初出演となったのである。

クライマックス近くに登場する娼婦役の岩井志麻子はホラー大賞・山本周五郎賞に輝く人気作家。MIKEMIZNO監督と同郷の岡山出身で「シベリア超特急1・2」の大ファンである彼女の是非との願いで特別出演となった。ワンシーンの出演ながら見事な演技は見る者の涙をさそった。



水野晴郎のここがポイント

三田佳子、宇津井健を囲む俳優陣も豪華絢爛な顔ぶれ。実力派勢揃い

この映画には5人の若手新人俳優が抜擢され実にフレッシュな演技を見せる。この映画が封切られるとブレイク間違いなしの逸材揃いだ。田中丈資・安藤一平・大塚ひろの3人は40年代の純真な若者を、真柄佳奈子・江成大輝は未来の日本を象徴する若者を演じる。明るい5人の個性がこのミステリーを華麗に彩っている。映像的魅力も抜群で、開巻11分に渡る長廻し。これはアメリカから特殊カメラを仕込んだもので、船上を歩く三田の前左右360度周り秘められた謎の伏線に迫っていく。おなじみになった佐伯大尉のロープ投げ。今回は実際の列車ロケにて撮影されており、佐伯大尉（西田和昭）の手にマメを作っての決死スタントは最大の見物である。今回の佐伯大尉のキャスティングは第1作からの復帰でファンの熱望により実現したもので、西田も熱望に応えるべく猛烈な意気込みでアクションシーンを見せる。シベリア超特急の車両は日本映画界の大御所である木村威夫のデザイン。日活スタジオ内に素晴らしく豪華な1等車両と展望車を作り上げている。見所は他にも多い。全篇を貫くMIKE MIZNO監督のテーマであるパン・フォーカス。そしてマルチスクリーン。宝塚出身で今もカリスマ的存在である大浦みずぎがダイナミックに唄い踊る。そして問題は解決したかに見えてクレジット・タイトル。さあ、ここから大どんでん返しが2つ。絶対にお見逃しなく！



水野晴郎のここがポイント

音楽はコール・ポーターの「ビギン・ザ・ビギン」。チャイコフスキーの組曲「ロミオとジュリエット」。兄弟の別れのシーンには「コサックの子守唄」

選曲したのは日本フィルハーモニーオーケストラの指揮者でお馴染みの新田孝。彼も特別出演しているが、MIKE MIZNO監督もヒッチコックばりにもう1つの役で出演。更にスタッフの遊び心から小道具にもネタを仕込んでいる。どこに出ているかは作品をご覧になって見つけて頂きたい。最初から最後まで目を離さないでスゾ。



国際感覚あふれるドラマチックな面白さ。日本映画の枠をこえたロマンミステリー！
富田ひとみ（映画ライター）

1941年モスクワを発つシベリア超特急の中、一等乗客車輦に潜り込んだ少年がいた。宮城伝蔵16歳。ドイツで映画の勉強をしていたがお金に困り無賃乗車で満州まで行くつもりだ。同じ車輦に山下将軍が乗車していたが、何者かに狙われているようだった。走る列車の中で第1の事件が起きる。ラトビアの彫刻家ヤーンが鍵のかけられた部屋で殺されていたのだ。山下将軍が狙われている事と関係があると思ひ、伝蔵少年は山下の客室の前で寝ずの番をする。ユダヤ系ベルギー人を父に持つ日本人とのハーフの美しい少女オリビアと共に推理を巡らせていた。しかし、夜が明ける前に第2の事件が起き

る。オリビアの父ダニエルが殺されたのだ。悲しみに暮れるオリビア。悲嘆する山下。そして本格的な捜査に入るのだが、事件は謎を残したまま…。一方2002年、美しい山々、きらめく海。風光明媚な瀬戸内海を行くクルーズ船。その中ではテレビ局の会長にまで上り詰めた宮城伝蔵の誕生パーティーが開かれていた。和やかに開かれた絢爛たるパーティー。しかし一転、航行する船の中、密室で殺人事件が起きる。しかもそれは61年前のシベリア超特急の中で起きた事件と非常に酷似するのだ！伝蔵を狙うものの仕業なのか？61年前と結びつけるものはいったい何なのか？



3月1日(土)～7日(金) 京阪神独占公開決定

特別鑑賞券発売中！ 一般¥1,300(当日料金)・一般¥1,800/大・高生¥1,500)

「シベリア超特急3」の情報は右記ホームページからご覧頂けます。http://www.osgroup.co.jp

梅田HEPファイブ東南カド シネマ横丁

OS劇場 C.A.P

☎06(6311)2478

